

怒涛

7月16日 第105号 本号4頁40円 1年間(24回開封、送料込) 1200円

発行所 東京都豊島区池袋 2-11-2白石ビル 怒涛社 電話(982)3312 振替(東京)147121 編集発行人 中川進

プロレタリア世界革命の旗の下 万国の労働者団結せよ!

労働者共産主義委員会

わが労共委は今次参議院選挙カンパニアに戸村一作氏を立てて闘った三塚・芝山連合反対同盟と連帯し、戸村一作氏を支援し全国的宣伝戦をたたかいた。選挙の結果は、一三万余票で七五五位にとどまり戸村当選を勝ちとらせたが、反対同盟の闘いにたいする連帯を強化したこと、全国各地の闘う労働者学生住民、市民の運動を相互に結びつけたこと、杜共のブルジョア議会主義と対決する全国的闘いを強めたことなど、三塚闘争を中心とする労働者人民のたまたかの前進の条件を大きくつくりだした。反対同盟の闘いを支持し、連帯する闘いをすすめてきたわが労共委は、三塚

闘争に敵対する輩と断平闘いつつ三塚闘争を支持し、連帯する我々の立場ならびに我々の基本的な政治主張を明らかにし三塚闘争に連帯する戦列の強化の為に奮闘するとともに、プロレタリア解放闘争の前進として活動する革命党派として多くの闘う団体、諸個人との交流をかちとるよう努力し連帯の強化をかちとってきた。現在の政治的潮流の中で、なによりも要求されていることは杜共的な内容も曖昧な杜共共産主義の潮流をとりかき、観念的的主張を同調するのではなく、労働者共産主義と結合し労働者階級の独自の隊列を強化すること、選挙戦での団結を岩山大鉄塔防衛の闘いに結集させることである。

力をつこうとしている。民社、公明は、それぞれ後退の可能性があるが、階級闘争の激化を抑制しブルジョア支配の危機をさくく役割をはたすことは明らかである。自由社会を守る」という宣言

連帯活動を続けようという意欲をつくりだした。「連帯する会」は、全国代表者会議で、「三塚闘争に連帯する会」として改組された。多くの地方の連帯する会が、選挙闘争と欠陥をもつていたが、地方の連帯する会が、選挙闘争を支援するだけでなく、三塚闘争と連帯する活動を行う市民の運動を結びつけ、連帯と交流の輪を拡大した。これまでも同一地域にあつても全く交流のなかつた団体、個人が連帯し、程度の差はあれ、自らの立場でたたかいたが、岩山大鉄塔防衛闘争を闘うことができる方法で三塚闘争へのもの責務である。

政治的基準の曖昧な「潮流形成」

でなく、労共委への結集を!

参議院選挙の結果は、日本の政治情勢が大きな流動を開き、戸村一作氏を支援し全国的宣伝戦をたたかいた。選挙の結果は、一三万余票で七五五位にとどまり戸村当選を勝ちとらせたが、反対同盟の闘いにたいする連帯を強化したこと、全国各地の闘う労働者学生住民、市民の運動を相互に結びつけたこと、杜共のブルジョア議会主義と対決する全国的闘いを強めたことなど、三塚闘争を中心とする労働者人民のたまたかの前進の条件を大きくつくりだした。反対同盟の闘いを支持し、連帯する闘いをすすめてきたわが労共委は、三塚

田中政府への怒りをよびおこしている。また、アジアへの膨張や小選挙区制、刑法改訂請願法案、教育攻勢等々の故に反対への危機と金権選挙、企業ぐるみ選挙への批判も広がっている。日本の対外進出は、ますます露骨かつ悪化しつづけており、反動化への動きが強まってきた。選挙後も公共料金、政府認可価格の引き上げが相次いで強行されようとしており、総需要抑制策が中小経営とそ

共産党は、ますます日和見主義的、改良主義的方向を深め、プロレタリアートの裏切り者であることを示した。第一に、自民党の日報攻撃、「自由社会を守る」という宣言

「戸村一作氏の闘い」を發行し、わが労共委の主張を明らかにし、かつ、戸村氏と反対同盟の現時期的政治的立場をふまえて街頭宣伝によって、戸村氏支援の訴えを行った。

労働共産主義に結集し プロレタリア解放闘争の二層の前進を

排外主義を粉砕せよ

自民党の大巾な後退と「保守の偽善的人気」と、タレントの伯仲によって、戦後ト候補の大量公認、企業ぐる長期にわたって続いた自民党政治の動搖がはじまり、自民政治の危機の時代に突入した。かかる事態の到来を恐れ、自民党と田中内閣は、昨年小選挙区制導入を含む選挙制度改革の改訂の強行をもくろんだが、広汎な労働者人民の反撃によって挫折せしめられた。

この方向は、資本が巨額の闘争を深まっています。列強の闘争が深まっています。不可避のものであり、それには労働者人民大衆の闘いにたいする労働者人民大衆の闘い、包圍していかねばならない。要求されている。

社会党は、「保守逆転」にむけて革新の結集をはかり、選挙協力を追求する」としたが、共産党の「地方レベルの政策組織協定による革新統一候補」方式を拒否し、社公中軸の方向をとった。しかし総評中央労連と反自民浮動票を基礎としてきた社会党は、総評の民間組合の弱体化、共産党の進出、無所属の大量得票などによって後退しつづけている。「保守逆転」の可能性が

を基盤にさしあたり反動化の自民の勢力として前面に出ていたが、小ブルの改良の方向へ人民をみちびいていく、ブルジョア自由主義を美化することによって、プロレタリア人民を感化し日和見主義へ導きおしひるげ空港米力粉砕への攻勢へ決起すること。

野党諸派の小ブル的改良主義的対応と対決せよ!

自民党の危機と強まる

「自由社会の危機」を叫び、早くから選挙対策をはじめ、可能なあらゆる方法を使ってまきかえそうとした。教頭法、防衛二法、筑波大学法の強行、日教組への攻撃の強め、公共料金上げの一時延滞

自民党の絶対多数の維持が困難になるにつれ、反共の尖兵であり「建設的革新」なるものをとる民社党は、自民党と手を組みブルジョアを助ける姿勢を示している。反共共産党からひきはなし、ブルジョア社会を前提にした権

三塚・芝山連合反対同盟し、闘ってきた。戸村一作氏および「連帯する会」のたたかいは、三塚で、多くの都市で大小無数の闘争を全国にちこむ大宣伝集が展開され、数多くのピラがまかれ、鉄塔共有化の署名がすすめられ、これまで三塚闘争にかかわってなかつた人々も、三塚闘争に連帯するたまたかにひき入れた

選挙戦期間中、三台の選挙活動、東峰公判闘争支援のた

党派	議選総数	新議席	改選員	非改選員	総計	選の勢	前力
自民	70	62	64	34	126	134	59
民社	25	28	10	7	62	23	11
公産	13	14	7	5	24	11	11
民諸無所	4	5	0	2	10	1	0
合計	122	130	122	59	252	244	6

党派	得票数	比率	46/68参選
民会	23,313,676	44.3	44.5
民明	7,983,302	15.2	21.3
公産	6,355,948	12.1	14.1
民諸	4,927,453	9.4	8.0
民戸	3,112,415	5.9	6.1
その他	230,356	0.4	—
合計	6,659,550	12.7	6.0
合計	52,582,700	100.0	100.0

新議席数表

島添さんへの不当解雇を撤回させる行動

沖電気を百余名で包囲糾弾!

去る五月七日、沖電気は何の理由も明らかにしないまま、国会内決起三戦士の一人、島添久さんに対し、解雇を言い渡した。島添さんはすぐさま就労闘争を開始し、沖電青年及沖電気の労働者等に、共に不当差別解雇と闘うよう呼びかけ、その活動によって、五月十九日には「沖電気島添さんへの不当解雇を撤回させる会」が結成された。

沖電労働者の会を先頭とする「撤回させる会」は、5月30日の品川工場における実力就労闘争を突破口にして闘争を急激に拡大してきています。そして、これまでの交渉によって、解雇が不当であったことを認めさせ、大きな成果を挙げ取つてきています。

七・四全国統一行動は、沖電労働者を中心に約二百名の闘争の下開催された。27の結果、不当解雇撤回集会の成果として、品川、東京、静岡、関西、沖電で計画された。その結果、7月20日に自主退職するならば解雇を撤回する、などという沖電気の沖電差別を根拠に持った主張を粉砕する闘いとして闘われた。

午前7時10分品川工場に結集した約百名は、震える平島第一課長(首を切った本人)を包囲し、徹底的に糾弾した。

その後、「撤回させる会」は、本社に向い、職制のビケを突破し、人事部長大江に団交を認めさせた。その団交には、品川の野上、渡辺、平島も参加させ、不当差別解雇を徹底糾弾し、7月8日の再度の本社団交を確約させた。

現在、「撤回させる会」をさらに大衆的に拡大し、解雇

の白紙撤回(7月8日に克ち構内をデモ、赤ゼッケンの「沖電労働者の会」の通用門突破を口火にして工場内デモを貫徹した。そして平島渡辺を引きずり出し、団交を開催し、徹底的に糾弾した。

その後、「撤回させる会」は、本社に向い、職制のビケを突破し、人事部長大江に団交を認めさせた。その団交には、品川の野上、渡辺、平島も参加させ、不当差別解雇を徹底糾弾し、7月8日の再度の本社団交を確約させた。

現在、「撤回させる会」をさらに大衆的に拡大し、解雇

政府・公団は五月に岩山鉄塔撤去のための道路工事を芝山町農業委員会に強制し、採択させた。政府・公団は、八月下旬から九月にかけて、鉄塔を撤去する策動を示している。

反対同盟は、参院選挙闘争を通じて、全国の労働者、農民に対して、鉄塔撤去阻止の闘いに全力結集することを

よびかけてきた。さらに、「鉄塔の共有化」運動をおしすすめるため、鉄塔撤去阻止闘争に結ぶくことをおそれている。いろいろな形で妨害を行ってきた

国家権力は参議院選において戸村氏の得票が、その後ひかえる鉄塔撤去阻止闘争に結びつくことをおそれている

選挙期間中に団結小屋を急襲し二名の仲間を逮捕したのもこのあらわれである。こうした権力の攻撃をうち破り、沖電労働者の闘いに組織していくために全力をあげて、鉄塔撤去阻止の闘いむけ決起していこう。

七月七日、東京の品川文化会館で、集実行委の主催により「青島橋事件三十七周年華青闘争四周年七・七」出入国法制定に反対する全国集會が行われた。

集會では、医学連、神農閣、関学大全学戦線、北政閣、高社研、歯学連、東部青年共闘工學院大政問研、国學院大反戦閣、千葉工大保安閣、七・七アピール連絡協から、各団体のこの間の闘争報告と、南朝鮮人民への連帯、「出入国法制定策動粉砕、在日朝鮮人民への差別、抑圧、分断、同化」、強制退治の策動粉砕の決意などが表明された。

また、集會には、この日、関西で開かれた「七・七全関西反入管集會」からの連帯アピールが寄せられた。

集會は最後に、「南朝鮮人民の反日、朴打倒、祖国統一の闘いへの英雄的決起に、われわれは断乎連帯し、朴政権を支えてこの南朝鮮人民の闘いに反対し、南朝鮮の隷属・新植民地主義の支配を一層強化拡大せんとしている日本帝

七月七日、東京の品川文化会館で、集実行委の主催により「青島橋事件三十七周年華青闘争四周年七・七」出入国法制定に反対する全国集會が行われた。

集會では、医学連、神農閣、関学大全学戦線、北政閣、高社研、歯学連、東部青年共闘工學院大政問研、国學院大反戦閣、千葉工大保安閣、七・七アピール連絡協から、各団体のこの間の闘争報告と、南朝鮮人民への連帯、「出入国法制定策動粉砕、在日朝鮮人民への差別、抑圧、分断、同化」、強制退治の策動粉砕の決意などが表明された。

また、集會には、この日、関西で開かれた「七・七全関西反入管集會」からの連帯アピールが寄せられた。

集會は最後に、「南朝鮮人民の反日、朴打倒、祖国統一の闘いへの英雄的決起に、われわれは断乎連帯し、朴政権を支えてこの南朝鮮人民の闘いに反対し、南朝鮮の隷属・新植民地主義の支配を一層強化拡大せんとしている日本帝

沖縄人民の生活破壊、日帝への隷属強化をすすめる『海洋博』粉砕

沖縄人民の生活破壊、日帝への隷属強化をすすめる『海洋博』粉砕

七年、沖縄における施政権が、日帝の手に移行して以来、政府、支配階級は、政治、経済、軍事、イデオロギー、文化など、あらゆる面において、「沖縄一本土一体化」の諸攻撃を加えてきている。

そしてまた、アジアの階級闘争の現況にいられた米帝の、対アジア軍事戦略体制の再編に規定されて、在沖縄の米軍、米軍基地の再編強化を、この米帝と結びつけて、それぞれが配置されることになっている。

政府は、この「海洋博」に直接投資する資金として、会場関係に、四三〇億円、政府出展関係に二二〇億円、また関連の道路、港湾、空港などの「公共投資」を約二二〇億円計上しているといわれている。

この莫大な資金を投入した「海洋博」事業は、しかし、「沖縄開発」なるキャッチフレーズにもかかわらず、沖縄の労働者人民の利益に反して、逆らって労働者人民の生活を極度に圧迫し、破壊する一つの元兇となっている。

いわゆる「海洋博インフレ」といわれるインフレの高進、建設資材の急騰を始めとする諸物価の高騰(「返還」以後

の二年間の物価上昇率は約一・五倍で、全国といわれている)と、独占資本などによる土地買占め(沖縄の総面積は二%)、「開発」による公舎のまん延と生活環境の破壊などみられるように「海洋博」事業ならびに関連事業は、沖縄労働者人民の生活を一層窮乏させているのである。

こうしたことは、沖縄現地の「海洋博」事業を推進するかにされたが、「海洋博反対」の闘いの基礎がますます拡大していることをみてとること

沖縄労働者人民の広汎な「海洋博反対」の声にもかかわらず、政府、支配階級は、「海洋博」事業を強行している。彼らのこの策動には、沖縄労働者人民の生活をいかなる狙いが含まれているのだろうか。

それは、第一に、海洋開発とともに、「海洋博」事業で、グループの元請け業務を行う

これらの会社は、当面の「海洋博」に設定された目標を達成し、具体的には「海洋博」の魚骨領有宣言の経済的背景は、これにある。また、釣魚台周辺の石油、天然ガスなど海洋資源の開発は、経済面からみて最重要なものとされている。(釣魚台領有宣言の経済的背景は、これにある。また、釣魚台周辺の石油、天然ガスなど海洋資源の開発は、経済面からみて最重要なものとされている。)

「計画」的に、「海洋博」の開発のための沖縄「開発」をすすめるのである。

第二に、軍事利用の目的をもつ海洋開発を促進させるものとして、直接間接に「海洋博」を利用することである。「海洋博」を口実とした海軍調査の強化は、海底軍事用図の作成、あるいは海底軍事基地建設の策動に結合しているものである。

米国の目的は、海洋開発のそもそもの目的が軍事利用であったといわれている。日本においても、海洋開発審議会に防衛庁が参加しているのを見ても明らかである。軍事利用の目的をもつ海洋開発の策動は、「海洋博」を契機に、ますます強められていくのは確かである。

第三は、「海洋博」事業と「海洋博」PRを通じて、イデオロギー的に、「本土」一

沖縄人民の生活破壊、日帝への隷属強化をすすめる『海洋博』粉砕

この莫大な資金を投入した「海洋博」事業は、しかし、「沖縄開発」なるキャッチフレーズにもかかわらず、沖縄の労働者人民の利益に反して、逆らって労働者人民の生活を極度に圧迫し、破壊する一つの元兇となっている。

いわゆる「海洋博インフレ」といわれるインフレの高進、建設資材の急騰を始めとする諸物価の高騰(「返還」以後

七月七日、東京の品川文化会館で、集実行委の主催により「青島橋事件三十七周年華青闘争四周年七・七」出入国法制定に反対する全国集會が行われた。

集會では、医学連、神農閣、関学大全学戦線、北政閣、高社研、歯学連、東部青年共闘工學院大政問研、国學院大反戦閣、千葉工大保安閣、七・七アピール連絡協から、各団体のこの間の闘争報告と、南朝鮮人民への連帯、「出入国法制定策動粉砕、在日朝鮮人民への差別、抑圧、分断、同化」、強制退治の策動粉砕の決意などが表明された。

また、集會には、この日、関西で開かれた「七・七全関西反入管集會」からの連帯アピールが寄せられた。

集會は最後に、「南朝鮮人民の反日、朴打倒、祖国統一の闘いへの英雄的決起に、われわれは断乎連帯し、朴政権を支えてこの南朝鮮人民の闘いに反対し、南朝鮮の隷属・新植民地主義の支配を一層強化拡大せんとしている日本帝

七月七日、東京の品川文化会館で、集実行委の主催により「青島橋事件三十七周年華青闘争四周年七・七」出入国法制定に反対する全国集會が行われた。

集會では、医学連、神農閣、関学大全学戦線、北政閣、高社研、歯学連、東部青年共闘工學院大政問研、国學院大反戦閣、千葉工大保安閣、七・七アピール連絡協から、各団体のこの間の闘争報告と、南朝鮮人民への連帯、「出入国法制定策動粉砕、在日朝鮮人民への差別、抑圧、分断、同化」、強制退治の策動粉砕の決意などが表明された。

また、集會には、この日、関西で開かれた「七・七全関西反入管集會」からの連帯アピールが寄せられた。

集會は最後に、「南朝鮮人民の反日、朴打倒、祖国統一の闘いへの英雄的決起に、われわれは断乎連帯し、朴政権を支えてこの南朝鮮人民の闘いに反対し、南朝鮮の隷属・新植民地主義の支配を一層強化拡大せんとしている日本帝

七月七日、東京の品川文化会館で、集実行委の主催により「青島橋事件三十七周年華青闘争四周年七・七」出入国法制定に反対する全国集會が行われた。

集會では、医学連、神農閣、関学大全学戦線、北政閣、高社研、歯学連、東部青年共闘工學院大政問研、国學院大反戦閣、千葉工大保安閣、七・七アピール連絡協から、各団体のこの間の闘争報告と、南朝鮮人民への連帯、「出入国法制定策動粉砕、在日朝鮮人民への差別、抑圧、分断、同化」、強制退治の策動粉砕の決意などが表明された。

また、集會には、この日、関西で開かれた「七・七全関西反入管集會」からの連帯アピールが寄せられた。

集會は最後に、「南朝鮮人民の反日、朴打倒、祖国統一の闘いへの英雄的決起に、われわれは断乎連帯し、朴政権を支えてこの南朝鮮人民の闘いに反対し、南朝鮮の隷属・新植民地主義の支配を一層強化拡大せんとしている日本帝

七月七日、東京の品川文化会館で、集実行委の主催により「青島橋事件三十七周年華青闘争四周年七・七」出入国法制定に反対する全国集會が行われた。

集會では、医学連、神農閣、関学大全学戦線、北政閣、高社研、歯学連、東部青年共闘工學院大政問研、国學院大反戦閣、千葉工大保安閣、七・七アピール連絡協から、各団体のこの間の闘争報告と、南朝鮮人民への連帯、「出入国法制定策動粉砕、在日朝鮮人民への差別、抑圧、分断、同化」、強制退治の策動粉砕の決意などが表明された。

また、集會には、この日、関西で開かれた「七・七全関西反入管集會」からの連帯アピールが寄せられた。

集會は最後に、「南朝鮮人民の反日、朴打倒、祖国統一の闘いへの英雄的決起に、われわれは断乎連帯し、朴政権を支えてこの南朝鮮人民の闘いに反対し、南朝鮮の隷属・新植民地主義の支配を一層強化拡大せんとしている日本帝

七月七日、東京の品川文化会館で、集実行委の主催により「青島橋事件三十七周年華青闘争四周年七・七」出入国法制定に反対する全国集會が行われた。

集會では、医学連、神農閣、関学大全学戦線、北政閣、高社研、歯学連、東部青年共闘工學院大政問研、国學院大反戦閣、千葉工大保安閣、七・七アピール連絡協から、各団体のこの間の闘争報告と、南朝鮮人民への連帯、「出入国法制定策動粉砕、在日朝鮮人民への差別、抑圧、分断、同化」、強制退治の策動粉砕の決意などが表明された。

また、集會には、この日、関西で開かれた「七・七全関西反入管集會」からの連帯アピールが寄せられた。

集會は最後に、「南朝鮮人民の反日、朴打倒、祖国統一の闘いへの英雄的決起に、われわれは断乎連帯し、朴政権を支えてこの南朝鮮人民の闘いに反対し、南朝鮮の隷属・新植民地主義の支配を一層強化拡大せんとしている日本帝

民青学連幹部などへの死刑判決糾弾

民青学連幹部などへの死刑判決糾弾

民青学連幹部、金芝河らへの死刑を含む判決は、朴政権の反動的な反人民性を再びあらわにした。日本をはじめ世界各地で直ちに救援運動が組織された。(詳細次号)

民青学連幹部、金芝河らへの死刑を含む判決は、朴政権の反動的な反人民性を再びあらわにした。日本をはじめ世界各地で直ちに救援運動が組織された。(詳細次号)

民青学連幹部、金芝河らへの死刑を含む判決は、朴政権の反動的な反人民性を再びあらわにした。日本をはじめ世界各地で直ちに救援運動が組織された。(詳細次号)

民青学連幹部、金芝河らへの死刑を含む判決は、朴政権の反動的な反人民性を再びあらわにした。日本をはじめ世界各地で直ちに救援運動が組織された。(詳細次号)

民青学連幹部、金芝河らへの死刑を含む判決は、朴政権の反動的な反人民性を再びあらわにした。日本をはじめ世界各地で直ちに救援運動が組織された。(詳細次号)

民青学連幹部、金芝河らへの死刑を含む判決は、朴政権の反動的な反人民性を再びあらわにした。日本をはじめ世界各地で直ちに救援運動が組織された。(詳細次号)

民青学連幹部、金芝河らへの死刑を含む判決は、朴政権の反動的な反人民性を再びあらわにした。日本をはじめ世界各地で直ちに救援運動が組織された。(詳細次号)

民青学連幹部、金芝河らへの死刑を含む判決は、朴政権の反動的な反人民性を再びあらわにした。日本をはじめ世界各地で直ちに救援運動が組織された。(詳細次号)

「承前」

ここで読者諸君はマル青同路線を具体的に問題にして言...

この点を再度確認しておく、彼らは、第一に、労働者...

マル青同の「綱領」は、このことを、次の言辭の中に...

「党」は、「同盟」の基本方針としての基礎的な思想...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

マル青同の八・二五共闘からの逃亡と「小ブル的」組織性格

マル青同の「綱領」は、このことを、次の言辭の中に...

「党」は、「同盟」の基本方針としての基礎的な思想...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

マル青同の「綱領」は、このことを、次の言辭の中に...

「党」は、「同盟」の基本方針としての基礎的な思想...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

「綱領」の中の「政治的立場」は、彼らの中の「政治的立場」...

パレスチナ人民支援センターなど 日本アラブ文化連帯会議に 積極的提起の行動

去る六月二十八日、IRF情報センター、パレスチナ人民支援センター、パレスチナ解放委員会、新左翼文化国際部、日本アラブ文化連帯会議、東京集会所に積極的提起を行う行動をした。

四団体は、日本アラブ文化連帯会議実行委員会の最初の呼びかけ以降、アラブ作家代表の代表はエジプト文化相のセバイであり、パレスチナ人民、アラブ人民との連帯の内実があまりであるとして批判してきた。

去る六月十六日、実行委員会は再度呼びかけを発表し立場を明らかにしたが、パレスチナ解放勢力の武装闘争に際して、一言も言っていないものであった。

四団体は当日、大量のピラツチナ人民支援センターは、エリトリア解放のために闘っているELFへの資金カンパ活動を行っているが、怒濤編集局に対して、読者諸姉の協力を得たいとの申し入れがあったので掲載する。

全国の労働者、学生、人民のみならず、パレスチナ人民支援センター事務局は、エリトリア人民支援五〇万円カンパの達成を呼びかけたい。

周知のように、エリトリア人民はエリトリア解放戦線(E.L.F.)の指導のもとに世界帝国主義、国際シオニズムの後押しを受けたエチオピア植民地主義者と結託してエリトリアを買収階級に押し付け、一九六一年九月一日の武装蜂起以来、独立、民主

英語のストロガンを書いたボスター、アラブ作家への英文の呼びかけを用意し、集会実行委員会へ発言を申し入れた。集会の開始とともに入場したアラブ代表団に対して「サダト路線粉砕、パレスチナ人民の武装闘争支持、世界帝国主義・シオニズム・アラブ反動派打倒」のストロガンを大書したボスターを提示したところ、アラブ代表団団長のセバイ氏は、「侮辱された」として退席したのである。これに対してパレスチナ作家同盟のダーウシユ氏は、「わたしはここに残りたいが代表団として参加しているのだからわれわれも退席せざるを得ない」と発言した。

パレスチナ人民占領地区で激闘

シオニスト・イスラエル内閣では、去る四月の「メイア首相辞任劇」を含めた政治的混乱がつづいてきた。(メイアは正式には六月三日に辞任し、ラビンが新首相となった)カイロからの報道は、この間のゲリラ闘争がイスラエル内部に士気の低下を生み出したと伝えている。また、PFLP・G.Cによるシヤミール・キブツでの戦闘につき、六月十七日には、テル・アヴィヴのハチクバル地区の厚紙倉庫爆破によって隣接の地区電話局を破壊した。六月二日にはドラ村で激しい戦闘が行われ、装甲車二台を破壊し、敵の一部をせん滅し、部隊は指揮者を除き安全に撤退した。

シオニストは、こうした社会的矛盾、政治的混乱に対処するために、支配地域での抑圧を強めている。パレスチナ革命勢力は六月の中、下旬にいくつもの大きな戦闘を行った。六月十三日のPFLP・G.Cによるシヤミール・キブツでの戦闘につき、六月十七日には、テル・アヴィヴのハチクバル地区の厚紙倉庫爆破によって隣接の地区電話局を破壊した。六月二日にはドラ村で激しい戦闘が行われ、装甲車二台を破壊し、敵の一部をせん滅し、部隊は指揮者を除き安全に撤退した。

共産主義革命

こうした試みが、日本帝国主義の新中東政策を補完するものになりかねないこと。こうした提起は、聴衆の好意的な反響を呼んだ。

土の3分の2を解放し、引続き人民戦争を進展させていくな。エチオピア・ハイレ・シエラ七皇帝によるエリトリア併合は、エチオピアが新植民地主義の道具に他ならないと、一五〇〇万ドルの無利子借入金と引き換えに、三〇〇〇人民の解放闘争を支持し、ま



エチオピア人民支援五千万円カンパの達成を呼びかける

規模を越えるものであり、是非とも多くの労働者、人民の協力を得たいと思えます。わたくしはかかる活動を世界革命勢力と団結する活動の一つの重要な領域であると考

パレスチナ人民支援センター

エチオピア人民支援五千万円カンパの達成を呼びかける

エチオピア人民支援五千万円カンパの達成を呼びかける

エチオピア人民支援五千万円カンパの達成を呼びかける

エチオピア人民支援五千万円カンパの達成を呼びかける

六八年の五月革命に恐怖を抱いたフランスのブルジョア支配階級は、七〇年六月に「新形態犯罪処罰法」なるものを制定し、大衆的な街頭闘争や行政機関の占拠闘争などに対する重罰を定めた。この法律は、フランスの破綻法とも称される新たな治安立法であった。こうした治安法の新設は、現在の階級闘争の新たな局面に対応し、支配階級の側から新たな革命的勢力の成長を見出した結果であった。

「ブルジョア刑法再編の動き」

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

刑法『改正』 反動刑法草案とその狙い

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き

ブルジョア刑法再編の動き